



国際ロータリー第2590地区 川崎百合丘ロータリークラブ

Weekly Report

2013～2014年度

平成26年1月28日(火)
第1707回例会

会長 小塚 良雄
幹事 中村 和広
会報 中村 和広



作者の言葉
我々の百合丘ロータリー
のシンボルは百合の花は
地味には有り様にはあま
り多くは有り様にはあま
りに見られぬ花である
知る化の波によりは
され少くも初見とそ
ろと散らす
企つ小塚にその香は
清く風をいよ
清純な乙女を感
ぜよそのあり
昭和五十七年春吉日
中村和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1707回例会記録 平成26年1月28日(火) 28/46回

<点鐘> 小塚会長

<ソング> それこそロータリー

<表彰> 小塚会長
ポール・ハリス・フェロー 中村幹事、嶋会員



<会長報告> 小塚会長

- 2014～15年度国際ロータリー(RI)テーマ決定のお知らせ 《英語》Light Up Rotary 《日本語》ロータリーに輝きを
- 第30回RYLA(ロータリー青少年指導者養成セミナー)への参加決定通知・テキスト送付 親松会員に依頼いたします。
- 川崎白百合ライオンズクラブ結成40周年式典の案内 理事会に図ってから結論を出す予定です。
3/16(日) 式典15:00～ 祝宴16:15～ ホテルモリノ新百合丘

- 芸術の街研究会より 「文化の風春コンサート2014」パンフレット・賛助金のお願い 理事会に図ってから結論を出す予定です。
- 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2014第3回実行委員会の開催について
2/19(水) 18:30～20:00 麻生区役所4F会議室 適宜出席して様子を見たいと思います。
- 2/7(金) 川崎西RCの招聘卓話はオリピック招致に携わった池井優先生です。会長は出席いたします。登録料3,000円 希望者は事務局まで
- 関山会員夫人葬儀の丁寧なお礼を頂きました。関山会員も現在は経過もよく近々ハビリ病棟に移られるそうです。またロータリークラブで夫人の葬儀を行ったことをとても感謝しているとのことでした。当日はお手伝いご協力ありがとうございました。

<幹事報告> 中村幹事

- 第1、2、3グループのIMリハーサルと移動例会のお願い
2/12(水) IM当日10名のお手伝いと、明日のリハーサルのご協力をお願いいたします。
- *文書着 川崎鷺沼RC 川崎高津南RC 川崎北RC 川崎マリーナRC 横浜東RAC

第1709回	2月12日	IM
第1710回	2月18日	会員卓話
第1711回	3月4日	クラブ協議会

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ委員会>

阿久澤委員

小塚会長→「関山家葬儀の協力ありがとうございました。関山会員よりロータリアンであることを心より幸せに思い感謝の気持ちを伝えて欲しいとのことでした。また本日のフォーラムでは国際奉仕プログラムについてしっかりと検討のほどよろしくお願ひします」。中村幹事→「2月のIMのお手伝いのご協力を何卒よろしくお願ひいたします」。古澤会員→「昨日無事に中国から帰国いたしました」。野島会員→「皆様にお花を頂きました。ロータリーの友情に感謝してニコニコへいれます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、安藤志子会員、浅沼会員、井上久会員、北島会員、小島会員、中島健児会員、大矢会員、親松会員、佐藤会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、玉井会員、鶴丸会員、碓井会員、渡邊会員、山口会員、山内会員、結城会員、菅会員、阿久澤会員。

<出席委員会>

安藤志子委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1707回	37	31	6		83.78%
第1706回	37	29	8	2	83.78%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	26件	30,000円	706件	777,827円
財団	0件	0円	28件	337,000円
バネファクター	0件	0円	2件	200,000円
米山	0件	0円	23件	338,700円

<浅沼会員ご挨拶>

先週の会員卓話のあと内示があり、外部の会社に出向となりました。新支店長が決定次第ご挨拶に伺いたいと思います。百合丘ロータリークラブでは3年4か月お世話になり、ありがとうございました。



本日のプログラム

<クラブフォーラム>

ロータリークラブにあって真の在籍感や満足感を実感するには、しっかりとクラブ独自の奉仕プログラムを持つことが大切で、百合丘ロータリークラブの永続性に関わる最も重要な要素となるとの想いから、クラブにおける新たな奉仕活動を企画することを今年度の大きな目標とし、自らの課題・命題と考えてきました。

阿久澤会員の活動するKADVOの報告を聞き、当クラブで米山奨学生であったセンターノンバット君の故郷であるラオスの子ども達の状況の内容などから、当クラブで実行可能な事業として、また帰国後のセンター君の国作りに掛ける思いで現地の橋渡し役を果たしてくれること、国際奉仕活動を取り巻く環境について大きな進展があり、実施に向けた視界が大きく開けてきたと思います。

最終的には来年度決定いたしますので、ご意見よろしくお願ひいたします。

地区補助金についての小塚会長より企画案の説明があり、阿久澤会員より近況のKADVOの説明がありました。

